

情報発信等戦略の期間

令和4年度～令和7年度まで

情報発信等戦略

① 情報発信の内容

(1) モニターツアー参加者による情報発信

県外（主に首都圏）の旅行者及び旅行エージェントを対象に、本市の魅力を体験できるモニターツアーを実施し、参加者に本市の観光コンテンツをSNS等で発信してもらうことで情報を拡散し、観光誘客と交流人口拡大を図る。

(2) 特撮文化を活用した魅力発信

本市は、「特撮の神様」と称される「円谷英二」監督の出身地であり、平成25年度に「株式会社円谷プロダクション」協力のもと、「M78星雲 光の国」と姉妹都市提携を締結し、ウルトラマンを活用しての観光PR等を実施している。今後はさらに、「円谷英二」監督が残した「特撮文化」を継承するためのPR等も図りながら特撮文化を核とした観光誘客及び関係人口の拡大を図る。

② 須賀川市の情報発信体制

【須賀川市役所】

企画政策部

シティプロモーション、公式ホームページ、公式LINEアカウント、公式Youtubeチャンネル、広報紙活用等

文化交流部

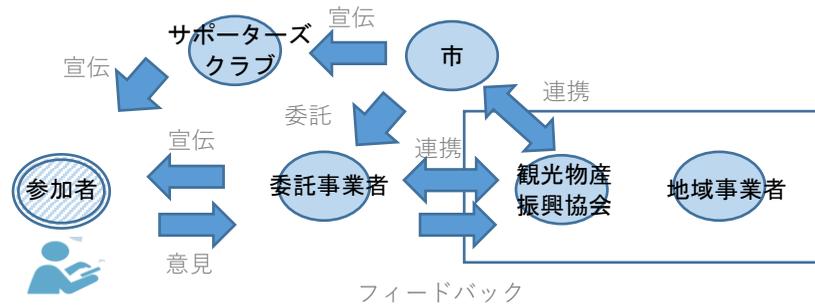
特設ホームページ、メルマガ活用等

【須賀川市観光物産振興協会・地域事業者】

市の観光、イベント情報をホームページとSNSで発信

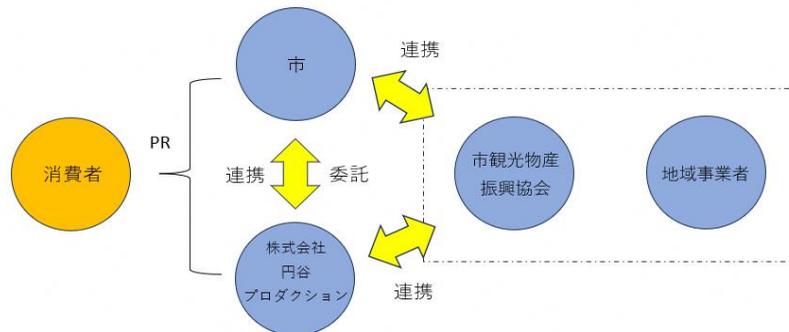
【須賀川サポーターズクラブ】

サポーター会員（約1,200人）の協力による情報発信



【株式会社円谷プロダクション】

各種イベントや公式サブスクリプションサイト等で発信



③ 情報発信等の戦略目標

(1) モニターツアー参加者による情報発信

ア SNS等を活用した情報発信

市は、主導でPR活動を行いつつ、メディアやSNS利用者に取り上げてもらえるような話題提供の仕方を工夫し、インターネット利用頻度が高い若年層やインフルエンサーにSNSやブログ等で情報発信をしてもらい、本市の情報を拡散することで、より多くの人に本市の魅力を伝えられるようにする。

イ ターゲットを意識した情報発信

様々な層をターゲットにツアーを実施することで、参加者の目線で各層へ本市の情報を拡散してもらう。また、参加者アンケートにより、どの層にどんなメニューが刺さるか分析する。

ウ 旅行商品の造成へつなげる

ターゲットに応じたツアーメニューを旅行エージェントへアピールし、最終的には、旅行会社に本市を組み込んだツアーを多く造成してもらえるように促し、観光誘客を図る。

(2) 特撮文化を活用した魅力発信

ALPS処理水問題で落ち込むことが想定される観光需要については、早期のマイナスイメージ払拭が急務であることから、令和6～7年度にかけて本市のさらなる認知度向上やイメージアップ、来訪者増加のための施策を強化する。

ア 「ウルトラマンのまち すかがわ」の認知度向上

「ウルトラマンのまち すかがわ」をより多くの方に知ってもらうため、HPのリニューアル及び新規PV制作を行い、インターネットを活用した情報発信を継続的に実施することで、県外・国外に散らばる特撮・ウルトラマンファンを中心にPRを行い、本市の認知度向上を図る。

イ 「空想の力を育むまち」としてのイメージアップ

「M78星雲 光の国」との姉妹都市提携から10年の節目を迎えた令和5年度に、株式会社円谷プロダクションと新たに締結した「まちづくり提携協定」に基づき、「空想の力を育むまち」の推進に関する取組の情報発信を行うことで、本市の更なるイメージアップを図る。

ウ 県外・国外からの来訪者・関係人口の創出

本市独自の風土である、特撮文化の推進を通して、特撮の歴史や技術の継承などを体感できるイベント等を実施し、本市や特撮文化について、また来たい、もっと知りたいと思われるようなリピーターの増加を図る。

また、「光の町の住民票」や「ウルトラマンへの手紙」といった、特撮文化をきっかけに本市とのつながりを感じられる取組の裾野を県外・国外へと広げることで、本市のファンとなる関係人口の更なる拡大を図る。

④ 全体工程表



(様式 1 - 3)

207 須賀川市 地域魅力向上・発信事業計画 令和4年度～令和7年度

令和7年1月9日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	各年度の交付対象事業費 (注3)					総交付対象事業費	全体事業 期間 (注4)	備考 その他 (注5)
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
1	A - 1	体験型交流推進事業	須賀川市		(5,330) 0	(5,325) 0	(0) 0	0	(10,655) 0	R4 ~ R5	
				<0>	<5,330>	<5,325>	<0>	<0>	<10,655>		
2	A - 2	特撮文化を生かしたイメージアップ推進事業	須賀川市				(20,000)	9,998	(20,000) 9,998	R6 ~ R7	
				<0>	<0>	<0>	<20,000>	<9,998>	<29,998>		
3	-								(0) 0	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
4	-								(0) 0	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
5	-								(0) 0	~	
				<0>	<0>	<0>	<0>	<0>	<0>		
			合 計	(0) 0	(5,330) 0	(5,325) 0	(20,000) 0	(0) 9,998	(30,655) 9,998		
				<0>	<5,330>	<5,325>	<20,000>	<9,998>	<40,653>		

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号)」となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) 「各年度の交付対象事業費」は、**上段 () 書きは前回までに配分された額**を記載し、**中段には今回申請する額**を記載する。なお、下段 < > 書き及び総交付対象事業費については、自動計算される。

(注4) 「全体事業期間」は、令和4年度以降に実施することが見込まれる事業については、令和4年度以降も含めて記載する。

(注5) 事業間流用を行った場合には、「備考」に事業間流用を行った旨、その時期及び額を記載する。なお事業間流用を行う場合には、流用する(流用される)事業名も合わせて記載する。

また、福島県については、実施要綱第4 6 - ⑤の一の市町村の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列挙)」と記載する。

(様式1-4)

207 須賀川市 地域魅力向上・発信事業計画

令和7年度

令和7年1月9日時点

(単位：千円)

No.	事業番号 (注1)	事業名 (注2)	事業 実施 主体	国費率 (a)	当該年度		備 考 (注4)
					交付対象事業費 (b) (注3)	うち交付金交付額 (c) = a × b	
1	A - 1	体験型交流推進事業	須賀川市	1/2	(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
2	A - 2	特撮文化を生かしたイメージアップ推進事業	須賀川市	1/2	(0) 9,998 <9,998>	(0) 4,999 <4,999>	
3	-				(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
4	-				(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
5	-				(0) 0 <0>	(0) 0 <0>	
				合計額	(0) 9,998 <9,998>	(0) 4,999 <4,999>	

(注1) 「事業番号」は、「(交付要綱別添1の番号) - (同一事業計画中の同種の事業の通し番号) となるよう記載する。

(注2) 「事業名」は、実施する事業の内容がわかるように任意の名称を記載する。

(注3) **上段() 書きは、前回までに配分された額**を記載し、**中段には今回申請する額**を記載する。なお、下段< >書きについては、自動計算される。

(注4) 福島県については、実施要綱第4 6 - ⑤の一の市町村名の区域を超える広域の情報発信等が見込まれる事業を地域区分1・2の市町村(複数市町村でも可)と実施する場合には、「備考」に「市町村連携事業(調整した市町村名を列举)」と記載する。

(様式 1-5)

須賀川市 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 7 年 1 月 9 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	2	事業名	特撮文化を生かしたイメージアップ推進事業	事業番号	A-2
事業実施主体	須賀川市	総交付対象事業費			29,998 千円
既配分額	20,000 千円	当該年度交付対象事業費			9,998 千円
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業					
					小計 9,998 千円
i) 風評動向調査					千円
ii) 体験等企画実施					5,998 千円
iii) 情報発信コンテンツ作成					4,000 千円
iv) ポータルサイト構築					千円
②外部人材活用					
					小計 千円
i) 企画立案のための外部人材の活用					千円
ii) 地域の語り部の育成					千円
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修					千円
風評の払拭に関する目標					
本市の観光入込客数 2,000,000 人 (平成 22 年度 1,276,247 人から 56%向上)					
事業概要					
事業実施主体	須賀川市				
主な企画内容	令和 7 年度よりリニューアル公開される「須賀川市 M78 光の町」HP 等を活用した PR 関連事業として観光プロモーションビデオ制作及び関連イベントを開催				
主な事業の実施場所	須賀川市				
事業の実施期間	R6~R7				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状>					
東日本大震災に伴う原発事故により発生した風評被害は、観光需要の落ち込みなど、本市にも大きな影響を与えたものの、この 10 年「ウルトラマン」や「特撮文化」を生かした本市ならではの取組を継続してきた結果、本市の認知度の向上及びイメージアップは着実に進んだ。一方で、観光入込客数を見ると、令和 5 年度は 1,159,200 人であり、平成 22 年度の 1,276,247 人と比較すると回復傾向にはあるものの、今後は安定して震災前の水準を超える観光入込客数を確保する必要がある。					
<課題>					
本市の認知度向上及びイメージアップが着実に進んできている中、ALPS 処理水の海洋放出による新たな風評被害の発生など負のイメージを払拭するためにも、本市の特長である「特撮文化」等を生かした更なるイメージアップにつながる取組を継続することで、本市の認知度向上と合わせ、国内外問わず本市のファンを増やし、定期的に本市を訪れるリピーター層を確保することが重要である。					
【課題に対するこれまでの取組と成果等】					
<課題に対するこれまでの取組>					
平成 25 年の姉妹都市提携の立ち上げから 10 年の節目を迎えた令和 5 年に、株式会社円谷プロダクションと新たに締結したまちづくり提携協定において掲げている「空想の力を育むまち」のまちづくり像のもと、令和 6 年度にはウルトラマンと連携した本市の観光 PR 用の HP である「すかがわ市 M78 光の町」HP のリニュ					

リアル事業や空想の力をテーマとした「すかがわ空想フェス 2024」を実施した。HP リニューアルにおいては、光の町をサイト利用者と作り上げていく参加型成長コンテンツを導入するなど、新たなコンテンツを盛り込んだことで、特撮文化や空想の力といった本市ならではのアプローチで市の魅力発信を今後図る予定であり、また、「すかがわ空想フェス 2024」においては、県外からの誘客の他、民間事業者主体のインバウンドモニターツアー（台湾・アメリカを対象）と連携した取組を実施することで、国外向けにも本市の認知度向上やイメージアップに取り組んだ。

<これまでの取組における成果>

令和6年度実施事業

【「すかがわ市 M78 光の町」HP のリニューアル】

既存コンテンツのブラッシュアップ

参加型成長コンテンツの導入

本HPがリニューアル公開される令和7年度以降は、新規コンテンツによるHPへの新たな来訪効果が期待され、当該サイトへの登録者数の増加のほか、HPへの来訪をきっかけに本市への関心が高まることで、リアルでの誘客数の増加が見込まれる。特に、参加型成長コンテンツの導入は、本市との継続的な関係性を構築するきっかけとなるものであり、オンラインの強みを生かし、広く国内外の方に定期的に本市HPへの来訪を促進することで、本市への親近感や愛着が醸成され、風評払拭につながるものである。

【すかがわ空想フェス 2024】

実施期間 令和6年11月16日（土）～17日（日）

実施内容

- ① 空想ミーティング（二部構成：トークショー）の実施
- ② 空想シアターと題したウルトラマンシリーズの上映会の実施
- ③ 募集した空想コンテスト作品の展示
- ④ ウルトラヒーローショー（TheLIVE）の実施
- ⑤ ウルトラヒーローとの写真撮影

来場者数 延べ21,120人

本イベントでは、本市主催のイベント以外に福島県、民間事業者の主催イベントを総括して「すかがわ空想フェス 2024」と題して、県外からの誘客をはじめ、インバウンドモニターツアー（台湾・アメリカを対象：参加者数28人）と連動した取組を実施した。また、市主催の地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業であるトークショーや空想にまつわる作品の上映会を実施した会場における来場者のうち県内他市町村、県外からの来場者は約4割を占めており、本イベントをきっかけに、県内外及び国外へ向けた本市のイメージアップが図られ、風評払拭に寄与した。

<目標達成状況>

目標：本市の観光入込客数2,000,000人（令和7年度目標値）

達成状況：令和6年度の本市観光入込客数については令和7年1月時点では未集計。

※参考：令和5年度の本市観光入込客数 1,159,200人

【今年度事業における具体的な取組内容】

【観光プロモーションビデオ制作】

- ・実施期間 令和7年4月～令和8年3月
- ・実施体制 須賀川市
株式会社円谷プロダクション（委託）
- ・概算費用 プロモーションビデオ制作業務委託費用 4,000千円
- ・取組概要

ウルトラマンをはじめとする本市独自の観光コンテンツを軸に、年間を通じた撮影を実施し、観光プロモーションビデオを制作する。プロモーションビデオは、春・夏・秋・冬の各季節に合わせ、市内の名勝等を舞台に計4本を制作し、市公式YouTubeやリニューアル公開した「すかがわ市 M78 光の町」HPのほか、インスタグラムで公開することで、県内外及び国外に向け、四季を通じた本市の魅力発信を図り、風評払拭につなげる。

○撮影予定地 須賀川牡丹園、（春～冬）、釈迦堂川花火大会、松明あかし、円谷英二ミュージアム等

【「(仮称) 空想の力」事業」の実施】

- ・実施期間 令和7年9月中旬(予定)
- ・実施体制 須賀川市
株式会社円谷プロダクション(一部委託)
福島県
- ・概算費用 企画運営業務委託費用 5,000千円
駐車場警備業務委託 292千円
旅費(関係者協議、PR) 239千円
需用費(印刷製本、消耗品) 467千円

・取組概要

株式会社円谷プロダクションと「空想の力を育むまちプロジェクト」として、国内外にファンを持つ、円谷プロダクションが持つキャラクターの魅力と、市が取組む「特撮」を絡めて、本市だけが持つ魅力の発信事業を行う。

また、同時期に福島空港において福島県主催で連携イベントを開催するとともに、民間事業者が主催となり、外国から本市へのインバウンドモニターツアー事業を検討しており、各主体の実施する事業と本イベント等をより連携・強化することで、県外、国外から一層の誘客を図り、本市のイメージアップと風評払拭につながる。

「(仮称) 空想の力事業」実施内容(案)

円谷プロダクションが持つキャラクター等を活かし、県外、国外からの誘客、市内の周遊を促すイベント等の開催

【今年度事業における目標】

<アウトプット>

- ・市公式 YouTube や「すかがわ市 M78 光の町」ウェブサイト等において、制作した4本の動画を公開
- ・(仮称) 空想の力事業の参加者数【目標 5,000人】

<アウトカム>

- ・制作した動画の再生数(年間再生数: 10,000回)
- ・イベント参加者アンケート結果にて、本市に対するイメージアップが図られた人数

【今年度、事業の実施により得られる効果】

観光プロモーションビデオは、リニューアル後の「すかがわ市 M78 光の町」HP 等で公開することにより、HP 内コンテンツの充実を図るとともに、HP 閲覧者(本市のファン・リピーター層)に向け、より効果的に本市の観光 PR を図ることができ、本市の更なるイメージアップに寄与するものである。

(仮称) 空想の力事業は、令和6年度からの継続事業であるが、新たな取組として、期間を設けて市街地などを周遊するイベント等を企画することで、更なる来訪者の増加が期待されるほか、前回のイベントに参加した県内外・国外の方にとっても飽きの来ないイベントとなることで、リピーター層として定着した参加者の口コミ等により本市の魅力が発信され、風評払拭につながることを期待される。

なお、上記のいずれの事業も、令和6年度に本交付金事業にてリニューアルを行った「すかがわ市 M78 光の町」HP 上にて広く国内外に発信する予定であり、継続した取組として本市の魅力向上・イメージアップを図るものである。